

第534号 2011年3月13日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570



お元気ですか  
志村 たかよし です

移転を容認

場外市場が衰退

区財政が破たん

# 中央区の「賑わい施設」構想の問題点を指摘

土地確保、施設建設、維持管理・運営などへの区財政の投入は避けられない。移転反対の区民世論のなかで、移転前提の「賑わい施設」に、ばく大な税金を投入する計画は許されない。

お客が場外市場と競合する「賑わい施設」に力を入れれば入れるほど、場外市場は衰退の道を歩んでしまう。



2月22日の本会議質問

中央区の地域経済と区民生活を守るためには、築地市場を現在地で再整備するしか道はない。

場外市場では「どこから出た案なのか」「組合で議論して提案したものではない」という声が聞かれる。「賑わい施設」構想は、どのような手順で作られたのか。

中央区が、都に提案している「賑わい施設」構想とは、築地市場移転後の跡地の半分の場合に、豊洲市場から仕入れた鮮魚や青果を販売する「仲卸ゾーン」や「観光飲食ゾーン」などが入る施設を作り、多彩なイベントを開催するというものです。お客の対象は、場外市場と競合する観光客や小口買い物客なので、場外市場への悪影響が危惧されます。

「賑わい施設」構想とは…

土地の所有や区の財政負担など具体的な計画について検討していない。

無責任な区長答弁

# 「移転断固反対」に立ち戻れと呼びかけても

## 区長は「築地を守る」「都議会を注視する」と言うだけ

「築地を守る」とは「市場を守る」とことと区長は明言せず

「築地を守る」という区長の発言は「築地市場を守る」ということですか。

と質問しても、区長は「市場を守ること」だとは明言しませんでした。



### 「移転」は、最終的に農水大臣の認可が必要

2007年、日本共産党の笠井亮衆議院議員の質問に対し、当時の福田総理は、「市場関係者や消費者の理解等を得ることは重要」「都から認可申請があった時は、適切に判断したい」と答弁しており、この政府見解は、今でも生きています。

東京都が土壌汚染問題について科学的に説明できない中で、市場関係者や都民、消費者の移転反対の声とともに地元中央区が「断固反対」を示せば、大臣の認可はおろそかないのです。また、都知事選挙の結果、「移転反対」の知事になれば、移転は中止になります。今こそ、中央区が「移転容認」を改めて「築地市場移転断固反対」を掲げ、現在地再整備に立ち戻るべきです。

とせまりましたが、区長は「都議会を注視する」「どのよう  
な結論でも断固築地を守る」と言うだけでした。

## 連載「わかまち今昔」(9) ～鉄砲洲と米軍普天間基地～

明石町と入船、湊の一带を「鉄砲洲」と書いたのは明治以降のことです。それ以前は、一字違いの「鉄砲洲」と書かれていたそうです。

江戸時代中期から鉄砲洲(てっぽうす)と呼ばれていましたが、その理由は、二つの説があります。

ひとつは、細長い埋め立て地の形が大筒(大砲)に似ていたからというもの。

もうひとつは、大筒がどれだけ飛ぶのか、着弾距離の測定をしていた場所だということ。

清水正雄氏の話では、この大筒の音が「うるさい」という住民の声があがり、横須賀の方へ移転させたというのです。まるで沖繩の米軍普天間基地撤去のたたかいのようです。

米軍基地は、なんとしても国外へ移転させたいものです。

ところで、現在、「鉄砲洲」の名前が付いている場所

所は、鉄砲洲児童公園、鉄砲洲稲荷神社、鉄砲洲診療所くらいなのでしようか。(つづく)



鉄砲洲診療所(左)と公園(上)



「意見、ご要望など、お気軽に」連絡ください(03-5551-6600)